

# 「新しい生活様式」における私のステイホーム

富士吉田教育部

荒田 悟

富士吉田キャンパスの学生は11月2日に退寮し、8月末の入寮からおおよそ2ヶ月の寮生活を終えました。退寮後の2週間、新型コロナウイルス感染症の第3波がはじまっていることから、少しの安堵とともに感染拡大が収まって欲しいと願っています。

学生たちは入寮後、自宅での自粛生活から解放され、水を得た魚のように夜遅くまで友人同士でグラウンドに出て遊んでいたことが、遙か昔のように感じます。人間は人と人との関わりの中で成長する。こんな当たり前のことを考えることは、新型コロナウイルスが人と人との間に巧みに割り込んでいた学生を思い出して、あらためて教育を考える機会になりました。人と人との関わりを制限させるこの感染症は、多忙で内向きになりがちな生活に存在を忘れてかけていたものに目を向けさせます。ちよつとした目標を変え、心の中の「新しい生活様式」が始まるのかもしれない。

昨年の富士吉田では4月、5月は桜が美しく満開となり、退寮後は紅葉が真っ赤になっていました。息を白くして富士山を見ていただけなかったことも少し心残りでした。次年度は、自然豊かな富士吉田で、季節の移り変わりが感じながら寮生活ができることを願っています。

私のステイホームは特に目新しいことではないのですが、自粛期間に家の「積読」の中から宇沢弘文さんの本を開いたことを紹介させていただきます。いつ何のために買ったのか覚えていないのですが、その中の「魚に泳ぎ方を教える」という言葉があります。「魚はもともと泳ぎ方がうまい。教える必要はない。ただきれいな水と豊かな緑の環境を用意すれば良い」、宇沢さんは、元々は数学者なので子供は生まれながらにして数学を理解する能力と性向を持っている。ただ、その能力と性向がすくすくと育つような環境を用意しなければならぬと言っています。水を得た魚のようにはいやいやに学生を思い出し、あらためて教育を考える機会になりました。

## 就任のお知らせ(12月8日 理事会承認)

特任教授

寺田 友昭



現：医学部脳神経外科学講座 教授  
(勤務地：藤が丘病院脳神経外科)

選考理由：横浜市北部病院脳神経外科診療のため  
任期：令和3年4月1日～令和4年3月31日

特任教授

楯 玄秀



現：医学部臨床病理診断学講座 教授  
(勤務地：旗の台校舎)

選考理由：藤が丘病院臨床病理診断科診療のため  
任期：令和3年4月1日～令和4年3月31日

特任教授(継続)

一正 眞一	田中 米良	俊二 雅昌	佐野 進昌
小林 隆	小川 良平	佐々木 忠徳	小野 洋一
高橋 寛	門倉 光隆	加賀美 芳和	小口 江美子
			小江 美子

## 佐藤洋輔助教が学会奨励賞を受賞

### — 日本臨床神経生理学会学術大会 —

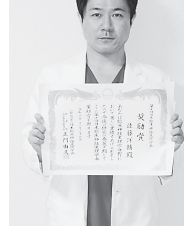
佐藤洋輔助教(医学部脳神経外科講座)が、日本臨床神経生理学会学術大会第50回記念大会(11月26日から28日、ハイブリッド開催)で第10回日本臨床神経生理学会奨励賞を受賞した。また、同大会内で受賞者による記念講演も行われた。

同学会は、人間の健康上の諸問題に直結した臨床的・分子・脳・神経・筋の機能解明のための基礎的な分野が一体となって、ヒトの神経系を中心とする複雑なシステムの研究を推進することを目的に1971年に設立された。今回授与された同賞は、今後、同分野の研究の進展に寄与されることを期待される若手研究者を表彰するものである。

佐藤助教は「脳波エントロピー解析によるてんかん焦点可視化技術の開発」の業績が高く評価され同賞に選定された。

佐藤洋輔助教のコメント  
このたびは第10回日本臨床神経生理学会奨励賞を頂戴し大変光栄に存じます。てんかんは100人に1人と

るガンマ波規則性をエントロピー解析により定量化できるようになりました。本研究では、脳波エントロピー解析を定量化することで、てんかん焦点可視化技術の開発につながることで、焦点と呼ばれるてんかん発作の起源にある病変部を正確に描出する技術開発は非常に難しいとされてきました。てんかんを手術で治すてんかん外科において、こうした技術開発は安全で確実な脳神経外科治療実践のために急務です。近年の脳波データデジタル化に伴い、てんかん焦点と関連する



佐藤洋輔助教(左)と授賞状(右)

## 永井努助教が優秀発表賞を受賞

### — 第4回日本精神薬学会総会・学術集会 —

永井努助教(薬学部病棟薬理学講座)が、第4回日本精神薬学会総会・学術集会(8月21日から23日、WEB開催)で、優秀発表賞を受賞した。

同学会は、精神科領域の薬物治療及び向精神薬開発の進展を鑑み、精神領域における薬剤師の専門性を向上させ、精神薬学の進歩発展を図ることを目的に2016年に設立された。

永井助教は「成人注意欠陥・多動症(ADHD)に対するアトモキセチンの有効性関連因子の探索の発表が高く評価され同賞に選定された。」

永井努助教のコメント  
このたびは、第4回精神薬学会において優秀発表賞を頂き、大変光栄に

存じます。本研究では、成人の注意欠陥・多動症(ADHD)の標準治療薬の1つであるアトモキセチンの長期使用における有効率が約40%程度であり、個体差が大きいことに着目し、有効性に関連する因子を検証いたしました。疫学的な手法を用いた検証により、複数の関連する因子を抽出し、治療薬選

択の個別化に応用できる可能性を報告いたしました。本研究にあたり、直接ご指導していただきました薬学部天然医薬治療学部門栗原竜也准教授をはじめ、デパートの収集・解析にともなう活動に努力してまいります。

さん、岡島千絵さん、並びに医学部精神医学講座岩波明教授、太田晴久准教授、薬学部向後麻里教授、岸本桂子教授、医学部薬理学講座(臨床薬理学部門)内田直樹教授、三邊武彦准教授、佐々木忠徳統括薬剤部長と、本研究に携わった全て先生にこの場をお借りして心より厚く御礼申し上げます。今後も今回の受賞を励みにより一層臨床業務、研究活動に努力してまいります。

永井努助教(薬学部病棟薬理学講座)が、第4回日本精神薬学会総会・学術集会(8月21日から23日、WEB開催)で、優秀発表賞を受賞した。

同学会は、精神科領域の薬物治療及び向精神薬開発の進展を鑑み、精神領域における薬剤師の専門性を向上させ、精神薬学の進歩発展を図ることを目的に2016年に設立された。

永井助教は「成人注意欠陥・多動症(ADHD)に対するアトモキセチンの有効性関連因子の探索の発表が高く評価され同賞に選定された。」

永井努助教のコメント  
このたびは、第4回精神薬学会において優秀発表賞を頂き、大変光栄に



(左)永井努助教(薬学部病棟薬理学講座)、(右)栗原竜也准教授(薬学部臨床薬理学講座天然医薬治療学部門)

## 昭和大学サポート寄付制度にご協力いただいた方

- 学校法人昭和大学奨学金基金への寄付
  - 【同 窓】 横山 幹彦 様(医学部・46回生)
- 保健医療学部看護学科への寄付
  - 【一 般】 一般社団法人日本私立看護系大学協会 様
- 昭和大学病院への寄付
  - 【一 般】 東京都騎手会 様 / 茂木 美佐 様
- 昭和大学藤が丘病院への寄付
  - 【同 窓】 横山 幹彦 様(医学部・46回生)
- 各クラブ・学生会への寄付
  - 【同 窓】 安斉 尚子 様(医学部・57回生)
  - 【職 員】 田代 良彦 様
- 昭和大学学生会協賛金への寄付
  - 【同 窓】 昭和大学同窓会
- 新型コロナウイルス禍学生支援への寄付
  - 【同 窓】 弘中 玲子 様(歯学部・2回生)

昭和大学 富士吉田の天然水

各種グッズも取り扱っております

・創立90周年記念切手  
・昭和大学オリジナルワイン  
・ポロシャツ など販売中!

昭友商事株式会社  
TEL 03-3784-8280 http://www.shoyu-trading.com/

お気軽にご相談を!!

- ◆ 万が一のための保障準備
- ◆ 住宅ローン・資産運用 など

お問い合わせ・ご予約は  
三井住友銀行 旗ノ台支店  
東京都品川区旗の台1-4-15  
TEL. 03-3785-3012

三井住友銀行 SMBC